



令和7年 新年ごあいさつ

青森県知事 宮下 宗一郎

明けましておめでとうございます。

皆様には、気持ちも新たに希望を持って新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

県では、2040年における本県の「めざす姿」を「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」とし、その実現に向けて最も重要となる県民の所得向上を図りながら、一人でも多くの若者が青森県で人生を送ることに多様な可能性を見だし、「ここで暮らしたい」と思える魅力ある青森県づくりに積極的に取り組んでいます。

人口減少を乗り越え、本県の価値を次世代につないでいくために、「A X (Aomori Transformation) ～青森大変革～」の基本理念の下、「挑戦」、「対話」、「D X」の3つを基盤として、各政策を着実に実行し、少子化や若者の県内定着・還流、県民の健康づくりなど、長年にわたり本県が抱える課題の解決を目指していきます。

「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」の2年目となる令和7年度は、「産業基盤の強化による所得向上」「いのちとくらしを守る基盤の強化」「こどもまんなか社会の実現」の3つの事項を最優先で取り組むこととしています。

具体的には、令和6年能登半島地震を教訓として、激甚化する大規模災害や非常事態への備えをハード・ソフト

両面から万全なものとし、県民の命と暮らしを守る取組を実施します。

また、令和7年度は、下北半島縦貫道路のうち、むつ南バイパス全線と横浜吹越インターチェンジから「道の駅よこはま」までの区間、合わせて13.8kmが開通予定となっており、産業・交流のより一層の拡大が期待される所です。

県民一人ひとりの思いに寄り添い、変わっていく青森県の未来に希望を持てるよう、県民の皆様と共に新しい青森県づくりを進めていきますので、皆様のより一層の御支援と御協力をお願いいたします。

結びに、皆様の御健勝とますますの御活躍をお祈りし、新年の挨拶といたします。